

横須賀市と防災協定を締結



協定書を取り交わす吉田雄人横須賀市長（左）と鹿島勇理理事長（右）

学校法人神奈川歯科大学と横須賀市は平成 23 年 9 月 5 日（月）、地震など緊急災害時における帰宅困難者の避難受入施設提供に関する防災協定を締結し、本学にて締結式を行いました。

去る 3 月 11 日の東日本大震災発生時、鉄道等の公共交通機関の停止に伴い、市内で多数の帰宅困難者が発生したことを踏まえ、横須賀市は防災対策強

化の一環として緊急災害時の帰宅困難者専用避難所を 5 カ所設置することを決めました。その候補地として、主要駅に近く医療機関でもある本学に打診があり、本学はこれを快諾し、協定の締結となりました。

本学は、災害時に帰宅困難者に対して体育館（約 500 人収容可能）を避難所として開放し、毛布、非常食、飲料水などを備蓄します。

東日本大震災・被災者支援プロジェクト 続報

本学では過去 2 回の派遣に引き続き、本格支援への準備として継続して現地視察等を実施しています。活動内容の詳細につきましては、附属病院ホームページ及び本学ホームページをご覧ください。

第3回 本格支援までの情報収集および現地視察等・陸前高田市

日 程：平成 23 年 6 月 23 日～ 26 日

派遣者：土肥雅彦（歯科医師・附属病院 口腔外科、KDC-SAS）

竹越史子（歯科医師・附属病院 小児歯科 KDC-SAS）

濱田順子（歯科衛生士・KDC-SAS）

活動内容：陸前高田吉田歯科医院への支援と被災地の被害復興状況の視察

- ・陸前高田 吉田歯科医院支援、被災地の状況を視察
- ・気仙沼、大船渡の被災地の状況を視察
- ・陸前高田高田第一中学校避難所 日本赤十字医療支援隊訪問

第4回 厚生労働省および宮城県歯科医師会の要請による歯科医療従事者派遣

日 程：平成 23 年 6 月 26 日（日）～ 7 月 3 日（日）

派遣者：渥美 美穂子（歯科医師 顎口腔機能修復科学講座 講師）

岡部 陽子（歯科衛生士 附属病院）

久保田 友嘉（歯科衛生士 健康科学講座口腔保健学分野）

黒羽 加寿美（歯科衛生士 健康科学講座口腔保健学分野）

相良 恭子（歯科衛生士 附属病院衛生士長）

錦織 聡明（歯科医師 附属病院インプラント科）

活動内容

6/26（日） 仙台市・宮城県歯科医師会館 説明会、器材等の準備、搭載

6/27（月） 南三陸町歌津地区小野寺歯科仮設診療所訪問 南三陸町の歯科医療支援の現況の確認

6/28（火） 南三陸町ベイサイドアリーナ 介護老人ホーム 公立志津川病院口腔外科訪問

歯科治療 1 名、口腔ケア 11 名、その他 2 名 志津川地区の歯科医療の現況確認

6/29（水） 登米市旧鱒淵小学校、旧嵯峨立小学校避難所 登米市大阪歯科医院訪問 石巻・女川町

歯科治療 2 名、口腔ケア 6 名、その他 3 名 被災状況の視察

6/30（木） 南三陸町ベイサイドアリーナ 介護老人施設 歯科治療 7 名、口腔ケア 17 名

7/01（金） 登米市公民館、津山総合体育館、ふるさと交流館 避難所歯科医療、口腔ケア支援の説明のみ

7/02（土） 南三陸町志津川中学、志津川高校避難所 口腔ケア 1 名



診療車を導入

現地での支援活動をスムーズに行うため、診療車を導入しました。近々さらにもう 1 台導入する予定です。



個人支援

支援プロジェクト以外にも、ボランティア活動をしている教職員がいます。

その中で人体構造学講座 肉眼解剖学・臨床解剖学分野の技能員・野々村敏也さんから報告が寄せられました。野々村さんは 6 月 24 日に宮城県石巻市へ救援物資を届け、配布作業や炊き出しを行うというボランティアに参加されました。

訪れた時点では市の中心部以外はまだ瓦礫が残っており、以前厳しい状況だったようです。そんな中、持参した新鮮な野菜などの生活物資はすぐに多くの方々に行き渡ってなくなり、炊き出しも大変喜ばれたということです。

学校法人神奈川歯科大学 100年を振り返る (開学100周年記念連載)

第4回 歴史に秘められた真実③ 戦中戦後、廃校から復興

清水精一校長 堀武病院長



写真11 清水精一先生



写真12 堀武先生



写真14 弓削朝子先生



写真13 歯科医専最後の卒業式

昭和16年、太平洋戦争が始まりましたが、戦争中も授業は継続されました。そして戦後は廃校の憂き目にあります。

この頃昭和22年、川村二郎先生が就任します。昭和25年歯科医専廃校後、歯科衛生士教育を開始します。昭和34年、清水精一先生は逝去されます。徐々に歯科大復興の動きが起こり、学校を補強し体制を整えるために、昭和36年、木本鎮雄先生が理事長に就任、神奈川歯科大学開学時は、中原實理事長、檜垣麟三学長が就任しました。

■歯科大復興へ

この時期に貢献された先生方が第1回で特集した5人の銅像の方々です。戦中戦後の混乱期、廃校という最悪の状況と衛生士教育への転換、歯科大学復興という大変な時期を全て見て来られたのが堀武先生です。堀先生の視点から、この時期を考えてみます。

前出 山村こう先生によれば、「その後、清水先生の御出現により、理事団も大ゆれにゆれて、清水先生が理事長になられまして、河合先生は御引退なされま

した。大久保潜龍校長、平野勇校長、中村五六校長、河合峻策校長、長尾優校長、永沢富次郎校長、清水精一校長、短期間に実に多くの改革をみましたものであります」清水精一先生(写真11)が校長に就任したのが昭和18年1月でした。同年、2月に堀武先生(写真12)が病院長に就任しました。

太平洋戦争のまっただ中で、奉仕作業や空襲の中での大変な学校生活だったとの記載が多く見られます。幸い大岡山の学校は戦火を免れ何とか建物は残ったようです。

しかし、終戦後待ち受けていたのは、廃校指示でした。昭和21年歯科教育審議会が発足、歯科医学専門学校指定規則が改定され、卒業生は全て国家試験受験が必要となります。そして、昭和25年までに歯科医学専門学校は歯科大学に昇格させる事、女子歯科大学は認めない事、男女共学にする事が決まります。

■女子の歯科医学教育の継続

昭和22年2月、アメリカ軍リジレー中佐と真鍋満太氏が本学を視察。文部省は、日本女子歯科医学専門学校、東洋女子歯科医学専門学校、福岡県立医科歯科専門学校は昭和23年以降の学生募集を禁止し昭和25年を以て廃校とするが、但し新制大学を設置する申請は認めるとしてその他は昭和25年までに大学に昇格する事、昭和23年から2カ年は専門学校への入学を許可すると告示しました。

正木正氏(日本歯科医学会誌第4号1巻)によれば「世界の歯科医育機関はいずれも男女共学で女子だけを入学させる大学は見当たらない。医育機関では日本の東京女子医科大学とアメリカのWomen's Medical College of Philadelphiaの2校、アメリカ

に女子のみの歯科医学校がないという事も廃校になった一因かもしれない」と述べています。

これを受け、本学は、女子のための歯科医学教育を継続するために歯科衛生士養成の日本女子歯科厚生学校を開学しました。東洋女子歯科医学専門学校は、東洋女子短期大学をへて四年制の東洋学園大学に移行しました。皮肉にも卒業生数は、昭和18年以降50名、66名、108名、130名、126名、116名、107名、138名と増加していました。

■弓削朝子先生によると

神奈川歯科大学弓削朝子研究奨励賞の弓削朝子先生は、当時を「このように発展の一途を進んでおりました折に終戦、そして学校閉鎖のやむなきにいたりしたことは、ほんとうに残念でございました。昭和21年4月に迎えた新入生を最後として、その翌年から年毎に1クラスずつ減って行き、学校は次第に静けさというより空虚になりました。

そのうちに高等学校の男子生徒が二十人ぐらい勉強するようになり、校庭で男の子がバレーボールなどする姿が見られるようになり、また学寮も私どもが長年住んでおりました学寮が人手に渡り、二寮には文化服装学院の学生が寮生となって起居するようになりました。

このようなことから学校当局が歯科医専が閉鎖と決められて以来、いろいろとご努力なさっている様子は私たちにも良く察せられました。昭和25年3月に、日本女子歯科医専最後の卒業生を送り出しました(写真13)。

40有余年にわたって続けられた女子歯科医師教育が、これで消滅するのかと思いました。」と述べています(写真14)。

(次号へ続く)

教学部便り

歯学部 学生生活について



歯科大教学部学生担当部長
山田良広

平成23年度を迎え、本学ではいくつかの変化がありました。学生生活において大きく変わったこと、一つは1年生に韓国からの留学生を迎えたことです。

受け入れが決定してから、教学部を中心に不安を抱えながら体制を整えてきたのですが、入学してみると、彼らの日本語はほぼ完璧で、講義にも特に問題なくついてきており心配は杞憂に終わっています。現在、日本

の学生にも自然に溶け込み、友達もたくさんでき、とても和やかに学生生活を送っています。

他には、本試験の時期です。昨年までは前期本試験は前期授業終了直後の7月下旬に行っていたのですが、今年は約1ヶ月後の8月下旬に行いました。変更によって、試験の準備期間が十分になったほか、昨年までは試験でできなかった8月上旬の全国歯科学学生総合体育大会へ向けての練習・合宿が可能になったことです。大会の成績は一昨年の大会と比べ、硬式野球部の準優勝他多くの競技でよい成績をあげています。本試験の結果も同様に向上していることを期待しています。

秋には稲岡祭がありますが、中心となるべき学生会が人数不足なため、教学部がサポートする形で新しい学生会の構築と稲

岡祭の準備を平行して行っています。稲岡祭を盛り上げるためにも多くのご父兄に参加していただきたいと思います。

短期大学 自己責任による 改善が進む



湘南短期大学教学部教務担当部長
藤野富久江

3月11日の東日本大震災では本学においても計画停電など授業への影響が懸念されましたが、4月からスムーズにスタートできました。そのような中、震災直後に自主的に募金活動を行い、日本赤十字社に寄付するという、本学の建学の精神「愛」を実践する学生がいました。

さて、教学部では、学生生活をより快適に過ごすために、また、自己責任という面で改善した点が二つあります。

第1に、かねてより学生から要望のあった洗面所の改修に關しアンケート調査し、その結果を踏まえ、明るくかつ機能的な洗面所にしました。

第2に掲示板についてです。毎日、教学部、図書館、健康管理センター、就職担当等からの伝達事項が多くあります。重要な指示・連絡などお知らせすべき情報を各科、学年、分野ごとに解りやすく配置しました。

掲示の見落としや誤読がないように、大学生活の基本として日々確認する習慣をつけ、各自が責任をもって行動できるようにしていただきたく改善しました。

教職員一同、これからも学生のみなさんの声に耳を傾けながら対応してまいりたいと思っております。

オープンキャンパスを合同開催 ～神奈川歯科大学と湘南短期大学歯科衛生学科～

6月19日(日)と8月7日(土)に実施したオープンキャンパスでは、神奈川歯科大学と湘南短期大学歯科衛生学科の体験授業を合同で行いました。

歯科大実習棟の保存・補綴実習室を使用して実施した体験授業は、

- (1) マイクロスコープ(歯科用顕微鏡の世界)
 - (2) イニシャル入りの歯ブラシを作ろう!
 - (3) プチ歯科医院体験!
- の3つの実習から1つを選ん

で体験する授業でした。

マイクロスコープでは、お札の隠された文字探しやお米に字を書くといった作業を、裸眼とルーペ、マイクロスコープとの比較を楽しみながら顕微鏡歯科医療について理解してもらいました。

イニシャル入りの歯ブラシを作ろう!では、歯ブラシの柄を動かないように固定して、イニシャルや名前を彫った後、好きな色のティースメイトを流し、ラメヤストーン、スパンコールでデコレーション、光照射で自分だけのオリ



マイクロスコープ

ジナル歯ブラシを完成させました。歯科材料の使われ方や性質についての説明もあり、真剣に歯ブラシを削っている受験生の姿が見られました。

プチ歯科医院体験!では、2人ペアとなり、タービンやバキュームの使用方法の説明を受けてから、実際に歯牙模型を削ったり、印象採得を行いました。インストラクターの先生や学生スタッフが見守る中、プチ歯科医院体験を満喫していました。

その後、歯科大では、附属病院見学、大学・入試説明、先輩



体験授業

の入学ヒストリー、個別相談、先輩と話そう!を実施しました。

短大では、実習室見学、大学・学科・入試説明、AO入試対策講座、個別相談、先輩と話そう!を実施しました。

受験生の方の感想

♡歯科衛生士の仕事って素晴らしいなと思いました。本大学もすごく充実していてここで学びたいと思いました。

♡普段、歯医者さんで見ることがこの実習で体験できてとても楽しかったです。設備がいろいろそろっていて、とてもステキな

歯科大実習棟の「保存・補綴実習室」は、本学診療中心の実習と技工中心の実習を効果的に融合させた本学オリジナルの実習機を使用しています。座って体の向きを変えると左側は治療室、右側は技工室にいるのと同じように作られています。特に左では模型の歯を削る練習や削った歯の型を取る練習、噛み合わせのチェック、口の中の検査等を行い患者さんへの対応を修得します。

大学だと思いました。

また、看護学科は同日、単独でオープンキャンパスを実施しましたが、「聴診器を使って自分のカラダを聴いてみよう」や「注射とは?」という演習が体験できる

体験授業は大好評でした。

体験授業以外には、AO入試対策講座、大学・学科・入試説明、学内見学、個別相談、先輩と話そう!を実施しました。

受験生の方の感想

♡AOについての解説などがとても分かりやすくよかったです。体験授業では、聴診器を使って自分の血圧を計ったりなど、とても興味深かったです。今回は貴重な体験をさせていただきあ

りがとうございます。

♡他の学校では行われなかった“面接講座”がとても参考になりました。校内見学の際、して頂いた説明もとても分かりやすく楽しかったです。

湘南短期大学 海外研修



8月7日から5日間、湘南短期大学の学生37名が参加し、海外研修(台湾)が催行されました。

研修2日目には国際交流協定を締結している高雄医学大学にて大変温かい歓迎を受け、交流が行われました。

双方代表による「学校の紹介および歯科事情」についての英語での発表、謝教授による「経絡と口腔の関係」についてご講演いただいたき、さらに混成グルー

プに分かれ附属病院見学、デイスカッションなどが行われました。最初は少し硬い表情でしたが、すぐに打ち解け、どのグループも大変盛り上がっていました。

その他の行程では小籠包「鼎泰豊」での食事、夜市での散策、九份の散策、忠烈祠、故宮博物館、中正記念堂、そして世界一の高層ビル「台北101」を観光し、台湾の伝統と文化に触れ、実りある研修旅行となりました。

湘南短期大学保護者会総会開催される

湘南短期大学保護者会総会が6月8日(水)に開催され、23年度役員、事業案、予算案などが審議され、可決されました。

引き続き保護者と教員の懇親会が開催され、活発な意見交換がなされました。



平成23年度 弓削朝子研究奨励賞 受賞者、吉田彩佳先生(薬理学)に決定



本年4月、弓削朝子研究奨励賞の募集(第7回目)を行った結果、7名の応募があり、弓削朝子研究助成委員会による審査の結果、受賞者が決定しました。

【平成23年度弓削朝子研究奨励賞】

受賞者 : 吉田彩佳(薬理学分野 特別研究員)

研究課題 : 歯科用可視光線照射器の青色光が歯周組織に及ぼす影響の検討

研究奨励金: 30万円

本学の学術研究のために多大なるご寄附を賜り、故弓削朝子先生並びにご親族の皆様にご心より感謝申し上げます。

※弓削朝子研究奨励賞

神奈川歯科大学名誉教授 故弓削朝子先生からの寄贈基金によって運用されている学内研究者を対象とした研究奨励のために支給される補助金です。

日本医用歯科機器学会道具大賞で銅賞受賞

7月31日に開催された日本医用歯科機器学会第21回研究発表大会で、青柳裕仁(生体材料器械学講座・助教、発表者)、榎本貢三(同・教授)、宮城 敦(生体管理医学講座障害者歯

科学分野・准教授)、赤坂 徹(同・助教)の4名が、「道具大賞銅賞」を受賞しました。

演題: 家庭用口腔ケアに応用できる訪問診療用小型軽量吸引装置の試作

神奈川県警察協力歯科医研修会で指導協力 —社会歯科学講座 法医学分野—

毎年、法医学分野は神奈川県歯科医師会主催の神奈川県警察協力歯科医研修会に指導



協力しています。

今年は猛暑の中、8月4日に神奈川県歯科医師会館で講義、7日に本学にて実習が行われました。3月の震災の影響で会員の意識が高まり、例年に比べ参加者が多く、警察協力歯科医88名、一般会員歯科医12名、

警察鑑識32名の計132名が参加しました。

本学解剖室では身元不明遺体からの死後のデンタルチャートの作成、デジタルX線撮影を行い、実習室では生前・死後の資料よりデンタルチャートを作成し照合判定を行いました。

また頭蓋骨やマネキンを用いて口腔内写真やX線撮影を行った他、実習準備室では身元確

認におけるX線撮影の重要性の説明と仰臥位パノラマX線撮影などの実習も行いました。全国でも珍しい実践的な研修ということもあり、県外からも見学者が訪れました。

本実習にあたり、解剖棟の使用を快諾して頂いた本学人体構造学講座解剖学分野の高橋常男教授他、関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

平成22年度決算について

平成22年度決算は平成23年5月24日に監事の監査報告を受け、平成23年5月25日に理事会で議決され同日開催の評議員会で報告されました。

平成22年度決算は学生数の減少により学生生徒等納付金が減収となったものの、医療収入の増加や賞与支給月額削減等による人件費の削減、業務委託見直し等による経費削減、不要不急な予算執行の見送り等により、1千7百万円の消費収入超過となり、財政の健全性を確保いたしました。

また、文部科学省が「経営状態が正常状態であると定義」

する、以下の3つの指標についても、すべて定義をクリアしております。

1. 「教育研究活動によるキャッシュフロー」が黒字
2. かつ外部負債も10年以内で返済が可能な状態である
3. 更に帰属収入から消費支出を控除した帰属収支差額もプラスである

なお、神奈川歯科大学ホームページの情報公開 (<http://www.kdcnet.ac.jp/aboutkdc/index.html>) にも、事業報告や詳細な財務情報を公開しておりますので、ご覧ください。

1 消費収支計算書 22年4月1日から23年3月31日まで (単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	4,420,230,000	4,408,165,500	12,064,500
手数料	40,620,000	29,169,950	11,450,050
寄付金	21,510,000	28,699,647	▲ 7,189,647
補助金	397,540,000	399,955,815	▲ 2,415,815
国庫補助金	390,690,000	390,686,000	4,000
地方公共団体補助金	6,850,000	9,269,815	▲ 2,419,815
資産運用収入	52,460,000	48,277,335	4,182,665
資産売却差額	353,070,000	353,067,728	2,272
事業収入	2,257,480,000	2,274,126,469	▲ 16,646,469
雑収入	626,730,000	652,322,925	▲ 25,592,925
帰属収入合計	8,169,640,000	8,193,785,369	▲ 24,145,369
基本金組入額合計	77,020,000	▲ 257,450	77,277,450
消費収入の部合計	8,246,660,000	8,193,527,919	53,132,081
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	4,814,400,000	4,777,772,502	36,627,498
教育研究経費	2,660,990,000	2,509,979,847	151,010,153
管理経費	851,790,000	838,803,477	12,986,523
借入金等利息	0	0	0
資産処分差額	42,890,000	42,873,804	16,196
徴収不能引当金繰入額	7,500,000	7,490,703	9,297
(予備費)	(59,020,000) 40,980,000		40,980,000
消費支出の部合計	8,418,550,000	8,176,920,333	241,629,667
当年度消費支出超過額	171,890,000		
当年度消費収入超過額		16,607,586	
前年度繰越消費支出超過額	9,749,930,000	9,472,075,325	
基本金取崩額	191,090,000	252,940,568	
翌年度繰越消費支出超過額	9,730,730,000	9,202,527,171	

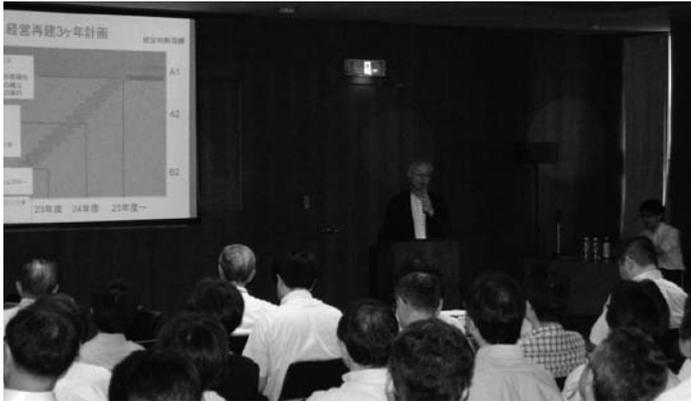
2 資金収支計算書 22年4月1日から23年3月31日まで (単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	4,420,230,000	4,408,165,500	12,064,500
手数料収入	40,620,000	29,169,950	11,450,050
寄付金収入	15,920,000	20,865,600	▲ 4,945,600
補助金収入	397,540,000	399,955,815	▲ 2,415,815
国庫補助金収入	390,690,000	390,686,000	4,000
地方公共団体補助金収入	6,850,000	9,269,815	▲ 2,419,815
資産運用収入	52,460,000	48,277,335	4,182,665
資産売却収入	353,070,000	353,067,728	2,272
事業収入	2,257,480,000	2,274,126,469	▲ 16,646,469
雑収入	626,730,000	650,590,925	▲ 23,860,925
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	741,600,000	624,202,500	117,397,500
その他の収入	5,612,690,000	5,618,873,453	▲ 6,183,453
資金収入調整勘定	▲ 1,651,780,000	▲ 1,651,775,874	▲ 4,126
前年度繰越支払資金	2,836,280,000	2,836,286,727	
収入の部合計	15,702,840,000	15,611,806,128	91,033,872
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	4,888,580,000	4,846,986,122	41,593,878
教育研究経費支出	1,697,380,000	1,515,742,268	181,637,732
管理経費支出	770,760,000	736,236,161	34,523,839
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	5,650,000	1,050,000	4,600,000
設備関係支出	72,340,000	72,194,611	145,389
資産運用支出	4,816,060,000	4,816,053,045	6,955
その他の支出	1,974,230,000	1,945,116,827	29,113,173
(予備費)	(98,220,000) 1,780,000		1,780,000
資金支出調整勘定	▲ 407,190,000	▲ 325,684,245	▲ 81,505,755
次年度繰越支払資金	1,883,250,000	2,004,111,339	▲ 120,861,339
支出の部合計	15,702,840,000	15,611,806,128	91,033,872

3 貸借対照表 23年3月31日 (単位 円)

資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定資産	25,336,091,313	25,342,264,024	▲ 6,172,711	
有形固定資産	18,347,372,298	19,391,020,415	▲ 1,043,648,117	
その他の固定資産	6,988,719,015	5,951,243,609	1,037,475,406	
流動資産	3,078,362,787	3,498,435,943	▲ 420,073,156	
資産の部合計	28,414,454,100	28,840,699,967	▲ 426,245,867	
負債の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定負債	2,432,707,267	2,501,920,887	▲ 69,213,620	
流動負債	1,127,324,345	1,501,221,628	▲ 373,897,283	
負債の部合計	3,560,031,612	4,003,142,515	▲ 443,110,903	
基本金の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
第1号基本金	33,306,949,659	33,559,632,777	▲ 252,683,118	
第2号基本金	0	0	0	
第3号基本金	86,000,000	86,000,000		
第4号基本金	664,000,000	664,000,000	0	
基本金の部合計	34,056,949,659	34,309,632,777	▲ 252,683,118	
消費収支差額の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
翌年度繰越消費支出超過額	▲ 9,202,527,171	▲ 9,472,075,325	269,548,154	
消費収支差額の部合計	▲ 9,202,527,171	▲ 9,472,075,325	269,548,154	
科 目				
本年度末	前年度末	増 減		
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	28,414,454,100	28,840,699,967	▲ 426,245,867	

理事会・教授会・健全化 プロジェクトチーム合同FD開催



8月11日(木)本部棟5階会議室にて、理事会、教授会、健全化プロジェクトチームおよび事務職員(所属長)が集まり、「組織運営形態」「教員各職階の役割」についての活発な議

論がされました。

ここでの議論は、更なる組織改革における重要な核となるもので、今後もフォローアップをしていきます。

神奈川歯科大学2年(18番)大野陽平くん 国体選抜メンバーに



神奈川歯科大学バスケットボール部2年の大野陽平君は、2011年10月初旬に山口県で開催される第66回国民体育大会のバスケットボール部門で、神奈川国体のメンバー15人に選抜されました。

残念ながら、ベンチ入りできるメンバーは13人と限られており、控え選手での登録となってしまいましたが、来年こそは絶対に正式メンバーに入ると、闘志を燃やしております。

大野くんは、身長188cmと体格にも恵まれ、高校時代、静岡

県代表でインターハイ2位と活躍した経歴があります。

今年の神奈川リーグ(3部)でも、ベストプレイヤー賞に輝き、8月初旬に行われた、全日本歯科学学生体育大会(デンタル)では、ここ数年、予選敗退していたバスケット部を決勝トーナメント出場に導きました。

「来月からの神奈川リーグ秋期大会、来年夏の医科歯科リーグ、デンタル等で優勝できるようにチーム一丸となり頑張ります。」と笑顔で答えてくれました。

(体育学・川上正人)

平成23年度公開講座(受講料無料)

- 10月19日(水) 午後2時~3時45分
五十嵐久佳(横浜研修センター内科・医師)
「頭痛に悩むあなたに ~危ない頭痛と困った頭痛の見分け方教えます~」
- 10月27日(木) 午後2時~3時45分
川上正人(体育学)
「足、靴の健康法 ~足裏マッサージを学ぼう~」
- 11月2日(水) 午後2時~3時45分
櫻井 孝(放射線学・歯科医師)
「今、放射線の人体への影響について考える ~放射線はあなたの身体の中で何をしているのか~」
- 11月10日(木) 午後2時~3時45分
山本龍生(社会歯科学・歯科医師)
「認知症と歯の関係 ~認知症にならないために歯と歯の間をブラッシングしましょう~」

お問い合わせ: 046-822-8708

神奈川歯科大学 平成24年度入学試験一覧

試験種別	エントリー期間	実施日	内定発表日	出願期間
AO入学試験2期	11/9(水) ~12/7(水)	12/11(日)	12/13(火)	12/13(火) ~12/20(火)

試験種別	区分	出願期間	試験日	合格発表
推薦入学試験 (公募制・指定校制)	1期	10月27日(木) ~11月2日(水)	11月6日(日)	11月8日(火)
	2期	11月9日(水) ~12月7日(水)	12月11日(日)	12月13日(火)
卒業生子女入学試験 帰国子女入学試験 外国人留学生入学試験	1期	10月27日(木) ~11月2日(水)	11月6日(日)	11月8日(火)
	2期	1月10日(火) ~1月24日(火)	1月27日(金)	1月31日(火)
	3期	2月1日(水) ~2月15日(水)	2月19日(日)	2月20日(月)
	4期	2月20日(月) ~2月29日(水)	3月4日(日)	3月5日(月)
一般入学試験 ※1期は福岡会場、 仙台会場で同時実施	1期	1月10日(火) ~1月24日(火)	1月27日(金)	1月31日(火)
	2期	2月1日(水) ~2月15日(水)	2月19日(日)	2月20日(月)
	3期	2月20日(月) ~2月29日(水)	3月4日(日)	3月5日(月)
編入学試験	1期	10月27日(木) ~11月2日(水)	11月6日(日)	11月8日(火)
	AO	日程はAO入試2期と同じ		
	2期	1月10日(火) ~1月24日(火)	1月27日(金)	1月31日(火)
	3期	2月1日(水) ~2月15日(水)	2月19日(日)	2月20日(月)
	4期	2月20日(月) ~2月29日(水)	3月4日(日)	3月5日(月)

湘南短期大学 平成24年度入学試験一覧

【歯科衛生学科/看護学科共通】

試験種別	出願期間(必着)	試験日	合格発表
推薦I期(指定校・公募) 特待生推薦 社会人特別I期	10月3日(月) ~10月20日(木)	10月30日(日)	10月31日(月)
推薦II期(指定校・公募) 社会人特別II期	11月7日(月) ~11月18日(金)	11月27日(日)	11月28日(月)
一般	1月10日(火) ~1月23日(月)	1月29日(日)	1月30日(月)

【歯科衛生学科AO入試】

	エントリー期間	面談日	内定発表
AO3期	9月1日(木) ~9月21日(水)	9月5日(月) ~9月30日(金)	10月4日(火)まで
AO4期	11月21日(月) ~12月5日(月)	11月24日(木) ~12月9日(金)	12月13日(火)まで
AO5期	1月10日(火) ~3月12日(月)	1月12日(木) ~3月15日(木)	3月15日(木)まで

【看護学科AO入試】

	エントリー期間	面談日	内定発表
AO1期	9月1日(木) ~9月21日(水)	10月2日(日)	10月4日(火)
AO2期	11月21日(月) ~12月5日(月)	12月11日(日)	12月13日(火)
AO3期	1月10日(火) ~3月12日(月)	3月15日(木)	3月15日(木)

※AO入試についての注意(歯科衛生学科/看護学科共通)

- ・AO入試のエントリーには、本年度オープンキャンパス体験授業を受講してください。
- ・募集人員を超えた場合、募集を打ち切る場合があります。
- ・打ち切りがある場合は本学Webサイト <http://www.shonan.ac.jp> にてお知らせいたします。
- ・エントリー資格などの詳細は入試要項、HPでご確認ください。
- ・入試要項・パンフレットは教学部へお申込ください。送料ともに無料です。